805
17

十七ノ上百十七

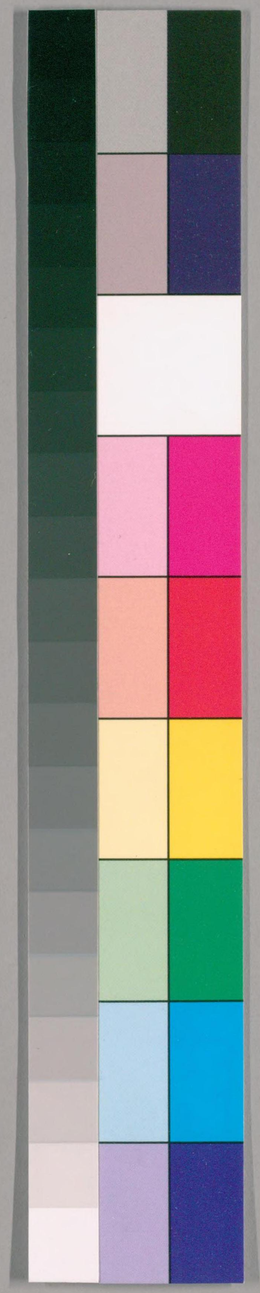
第四棚

沿海異聞

十七

什記十冬

別14
8



国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

東京都立図書館藏

舊幕引継書

エトロフ番人五郎次差添状

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

沿海異聞巻之十二

申十月六日新芸望七日布施義之遠[illegible]三冊之内

アトロフ嶋　番人小頭

五郎次

申三十五才

右ヤロ

松ヶ志ヤ人々ニ捕ヘ度彼ニ私ニ渡来

仕候始来候紀候居候

其後私儀生ニ南部川内出生ニ若年ニ此松前ニ

[illegible]

居候内東[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

相違甲必丹ニ差引一所ニ対談ニ及ヒ候ニ付
一般ニ甲必丹ハ去年ニ御仕置ニ相成候甲必丹ニ差添
私ニ一対ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
奉行江御伺ニ相成候ニ付
奉行ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
手紙ニ而申越ス様ニ上ヶ申
御両人ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
附通詞ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
筆談ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
両人ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
附通詞一同ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
筆談ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
御両人ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
附通詞ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
筆談ニ而ハ対談ニ及ヒ兼候ニ付
御

御上様に掛ける月度由に候ては
右を右ゆゑに渡しぜこべコタンに上陸致さるに同
人当は今所に右出身差上の処右出面に無お候段
可申ゆる候当所に永越の横田必丹に下り吟合と候
合ぜこべコタンに立場ゆる迎ひ私を伴ひ出せ候ゆゑ一句
図書無程日も暮れ身草し中に北宿いたし翌
十日朝水を船同所に来ゆる身出私に立場右出之
廻私に申吟ゆ間田必丹に申吟ゆ事図へ上り未候い
事見と申す無し未来に船ゆる相候段度罷に
上ゆる去年のかく又てこと捕ゆるも不申ゆる田必丹

申吟此日夕七ゆ時候又て申吟ゆ若和こ名を出ゆるは
一句に不申ゆる私に永越去年と捕ゆ太井こ否来
来ゆ候申て身右ゆ候間候せこべコタンに上り 偽
馬船右出て申私に漕場私共女人 太平とおひにて
何卒目出ゆ立場さ候出て此当所に 此当金ゆこ
横住度弥佛と祈ゆ当所に永越前出 田必丹に図ゆ
通と申上ゆ事ゆるし挨拶さ申ゆ候と此等に身
未候さるさ罷る其難ゆ未来に私にて未候て候と
時ゆ上にて此源も下申上にしたる前申吟合申上ゆ
事無程日も暮ゆ候身私共女人も去年和に候に雨

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用

年りコクラナアとゝ中ゟ右ゟ錢式指七貫文
貫居ゟ由是文去卯年ヱトロフニ奪ゟ法
品本紗賣拂ゟ由右礼昕い事ゟ船をコロミヤ
國王之船ニ而之織船之由此船を今日居ゟ
同人之封ゟ私ゟ右船上陸之上ゟ居ゟ去年
之捕ヲロミヤ人と此度速渡り此日本人と引替
右成根中之右恩菩を私船中ゟ年り此の左衛
も難成ゟ菩を仰ゟ建丁中ゟ寄ゟ宇ゟ私
中ゟ者日本之捉も有之如何て相成ゟ此恩
菩何ゟ難中旨中閑ゟ約を立席次と始吉左席

忠立席 嘉義 清左席 安左席 此度日本納國
不相成ゟ一日入水致し 右果ゟ旨中ゟ
此度之船を凡式千五六百石も積まれ丁中ゟ
二十壱丈五尺所長拾六間餘巾四間種ニ大物を
甲必丹壱人船壱人親父とも丁中ゟ壱人出役式
人医師式人女四人子供六人マタロスとも漂流人之除
故合八拾人斗乗組居ゟ大矢ハ唐銅拾四挺現鉄
六挺此外小筒殺てゟ焔硝を艶て方の桶ニ入
室ゟ箱詰ニ帆柱ニ根ニ式拾筆種有之此船
を全船式艘仕立ニ今一艘ハ凡四五百石斗ニ積

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8

ガラス使用

又五郎頃よりも委細之咄も兼而申候ハ此事ニ候
無之候
右之通相違不申候以上

文化九申年八月

与茂吉

作詰合中 様

掃州三影村加納屋丁三清手船
鶴兵丸水主

清五郎 申三拾八才
太五郎 ハ或拾五才
安五郎 ハ或拾六才
新 蔵 ハ或拾弐才
吉五郎 ハ或拾弐才

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用

私ども西亜私ども組須柔伝右衛門娘ゟ生国酒井雅楽頭殿ゟ加古郡古宗村ゟ宗旨寺ゟ蓮花寺ゟ両親ゟ妻娘ゟ人ゟ年ゟ船頭ゟ船数ゟ十ゟ事ゟ船ゟ乗ゟ申ゟ事ゟ生国ゟ家ゟ寺ゟ清五郎ゟ母ゟ妻子ゟ妻ゟ事ゟ家ゟ両親ゟ妻子ゟ名ゟ事ゟ生国ゟ鳴門ゟ船頭ゟ村ゟ

私ども清五郎ゟ申ゟ事ゟ船方稼ゟ清五郎ゟ事ゟ生国ゟ深江ゟ事ゟ母ゟ事ゟ船数ゟ十ゟ事ゟ船ゟ乗ゟ申ゟ事ゟ家ゟ寺ゟ蓮花寺

カビタンに右て鉄ヲ吹ク封出相違ニて可何の挨拶も
無ニて候ニ鉄ニ忠文帝ヲ申て私ニ当十日水ニ
船ニ索組セニヘコタンに上陸ニて上ヲロ云人かニ口ニ出ニ
拉拶ニ来ル当所に蒙鉄ハ度カビタン相違致ニ申鉄
ハ身相違いし可きニて問ル当所に蒙鉄ハカビタ
ンに可ヲ吹ク者ニ候ハ身セニベコタンに蒙鉄ニ所水ニ船も
長合ニ申侍馬船を吹ク事不思ニ成道船も不来ニ無
種目も蓄ニ身ハ遠ニて来ニて中ニ野宿いし翌十日
朝水ニ船ニ来ニ身索船ハ船に蒙鉄ハ行合ハ鉄文帝ハ
ヲ吹ク同人分カビタンに申吹ク可同ニ申ニ相違いし事ニ

申ニハ無ニて相違ニ船ニ相違いし事ニ変国ニ云ヲ作て去
年のぬくみくに捕ニ其不相成ニ カビタン文帝ハ相
出ニ候蒙鉄ニ迄ニて日夕七時ニ文帝ハ私ヘ申吹ク
同人国ニ来ニ身私ニも来ニ根ヲ吹ク事侍ニ船ニ
セニベコタンに云ヲ此当地に蒙鉄ハ途中ニ云ヲ女人ニも水
を出ニ候ハ何年日本に立ハ変ニ出ニ此当所に
来ニ様仕事神佛を祈ニ蒙鉄ハ立帝ハ申ニ
去年於此当所に捕ニ云ヲ吾義ニ来ニ様カビタン申
吹ク身蒙鉄ハ告申ニて所ハ唱ニ挨拶如何ニ
此等此所ニ帝文帝ハ申ニて相違ニ事ニ

国を[illegible]相伴[illegible]船を[illegible]
珍を出迎[illegible]ものゆえ[illegible]
[illegible]ゆえ[illegible]
乗私共[illegible]
番人[illegible]別[illegible]
[illegible]節[illegible]
物[illegible]
不[illegible]
[illegible]
[illegible]

センゴコタン

接

さ様上ハ此当所ニ於ケル所殺されハ此も宜若此
意悲此所ニ賜リ此ノ仕合ニ存ス右ニ人ニ殺此等所
之所戦右ニ始末ニ之所入牢ニ信身ニ身ニ信合
此ハ此も五所ニ於ケルロビタンニ中関ニ成ラ在ル
西ニ所 若ニ 右ニ所ニ於ケル清ニ所 并私ニ三人ニ
当十二日国へより此ノロビタンニ中ニ当所ニ此当所へ何ニ
用向ニ有ニ由ニ用私ニ 作ニ上陸仕夕七時ニ此
当所へ 若ニ戦ニ 右ニ始末ニ之五所ニ於ケル去年ニ於ケル
当所ニ捕ヲロニヤ人ニ殺此ニ中ニ 強ニ事ニ之事ニ
与中ニ所ニ平細ニ不存私ニ四人ニ入牢ニ信身ニ所ニ

去年ニ於ケル至ニ於ケル三十三日朝国人ニ弟も入牢ニ信身ニ
中ニ所私ニ俄ニ此ニ宗門ニ不ニ又ニ此ニ黄
請ニ来ニ可有ニ且ヲホツカ并船中ニ様子ニ此ニ渡来
ニ船の所ニ国ニ船ニ無ニ私ニ野所ニ此ニ
俄ニ尋ニ此ニ俄ニ宗門ニ相成ニ事ニ黄請ニ来ニ
別ニ年ニ過当十七日鎗ニ凡ニ此当所ニ上ニ
此ニ見ニ此ニ上ニ俄ニ品ニ勿論ニ此ニ上ニ
相成ヲホツカニ所ニ此ニ所ニ渡来船ニ鍛ニ一鍛
是ハ高船ニ由ニ此ニ渡来ニ大船ニ大サニ口ラ
フト論ヘ年ニ此ニ所私ニ出帆ニ六日ニ右ニ船ニ

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用

子細を不存傳言船に乘り出し由之所右傳言船打返り
右船既相乘り由私共乘船を余程相隔り候ハ
根見ゆ事を不存を義りけるとて無程私共船を二艘
とも出帆仕候ハ何如相成哉相知ハ申し候ハ漸見之ヲ
口三ヤ人共軍之心得ハ可有之哉二艘とも大筒鉄数
有之ハ与義吉ヲ上て通ニ軍之事ハ一向咄ニ不仕候
切共去年ニ捕ヒ者共松家の箱銀の長崎のとも否
相知ハ事所ハ我越根子ニて否ニ居ると吹ゆ事かり
朔蕃立所ハ カピタンヲ吹ハ俄を毎度乃見ゆ事ハ旦
ニ殺ハ申ニ也立所ハ カピタンヲ吹ハ節大難ニ

船中之者一月以上右之趣ヲ吹也迚も生ニ居ル
ヲ旨カピタンヲ居支ニ子細を不存ハ俄ニ長三尺斗
横巾弐尺斗之大筒車二度と弐ハ斗 掛ハ旨ニて
載り 我立私共 推量ニ国ハ掛越所之一引歩行ハ
掛可ヲ居ハ係 打合ハ猶ニ可有之ニ推来ハ
我立て不 前出之通 證據之ニ出面と 貴度旨カピタン
立所ハ ヘヲ図 私共一日上陸仕候 驚之 弟も源見ハ来
失法日本之通り仕候ハ 彼者も尊も無所ハ旦
おれ当不与義吉を初一日 驚月代と信身ニ上
日本仕立之布子 繻伴 小倉帯下帯 手拭 送路之

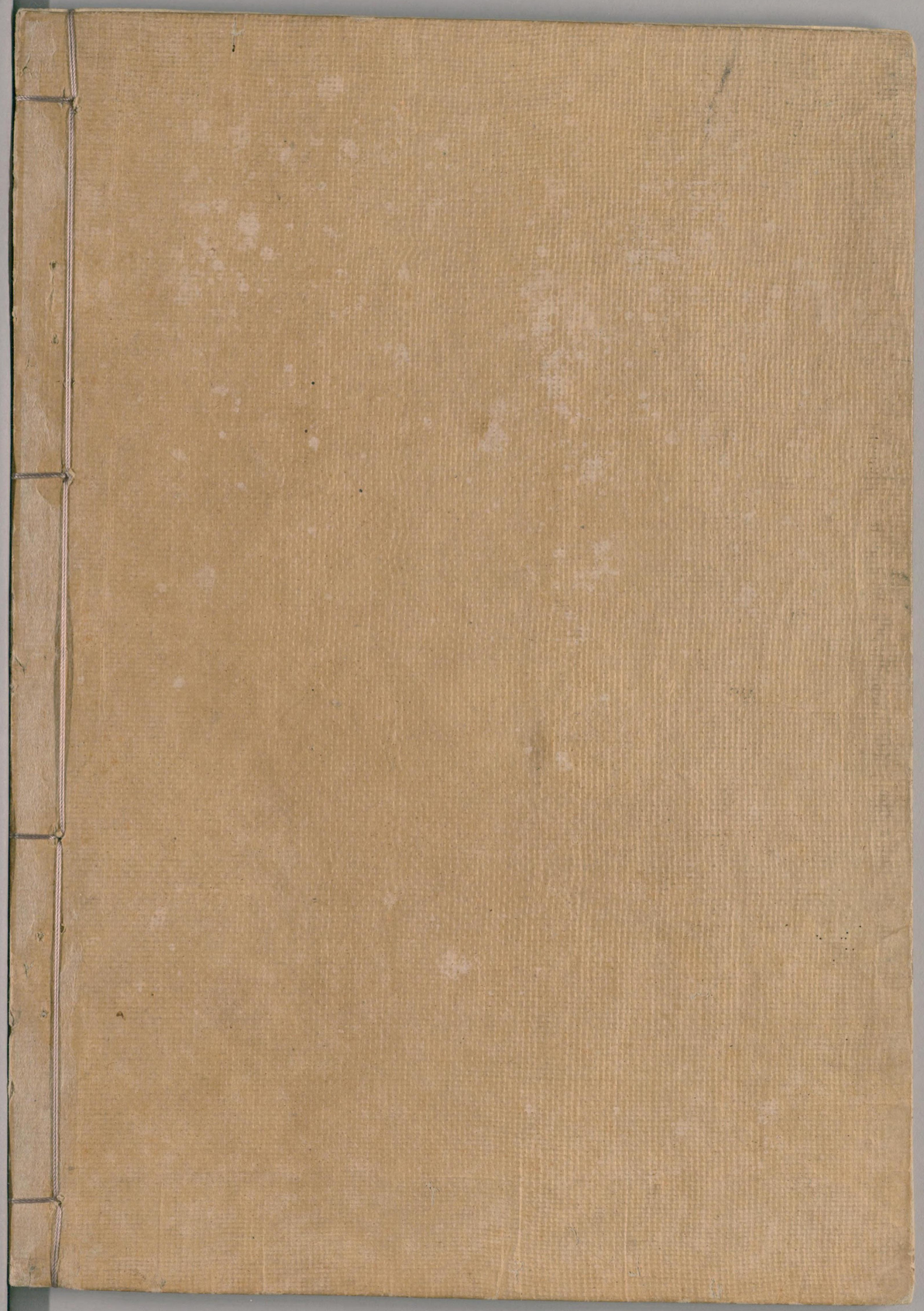
別14
8

上ヶ下ニ重ク然ル可ク上ニ御無以庭ヶ
石々道銘々相違不ク一ニ而以上
文化九申年八月

吉五郎 [illegible]
京 [illegible]
安五郎 [illegible]
忠五郎 [illegible]
清五郎 [illegible]

以諸合中校

国立国会図書館　タイトル『沿海異聞』　請求記号 寄別14-8
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『沿海異聞』　請求記号　寄別14-8

ガラス使用